

DEI NEWSLETTER

法政大学ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンセンター（DEIセンター）



目次

- DIVERSITY WEEKs2025開催
- 三大学連携事業シンポジウムを開催しました
- 【ジェンダー平等を実現しよう
～男女共同参画部会News】
- 理工系の研究を体験しよう！を開催しました
- 附属校へ出張授業
- 多摩、小金井での取り組み

HOSEI DIVERSITY WEEKs2025を開催

今年も「HOSEI DIVERSITY WEEKs 2025」を開催します。
ジェンダー・セクシュアリティ、多文化、障がい等幅広いテーマで、
学生スタッフによる企画等を実施します。
誰もが安心して過ごせる大学に向けて、多様性・公平性・包摂性が
もっと身近になるプログラムが満載です。ぜひご参加ください。

◆ 学生企画（一部）

企画名	日時	場所	概要
En(縁) x 食を通じた 多文化交流	12/1～12/5 昼休み	市ヶ谷:富士見坂ホール	DEIセンター学生スタッフとGBPやGISの学生が協力して、各国の軽食販売や多文化交流会を開催。
The world is more colorful with you	12/1～12/5	市ヶ谷:メディアラウンジ、 田町校舎 小金井:マルチユースホール	LGBTQ+/SOGIEに関する基礎知識の展示、 動画上映、ものづくりワークショップ等を実施。
バリア・アドベンチャー 障がい理解講演会	12/1～12/12	市ヶ谷キャンパス各所	キャンパス内にあるバリア(障害)スポットを巡りながら学ぶクイズラリー。12/3には講演会を開催。
HOSEI DEI FEST	11/28	多摩キャンパス円芝	DEIをテーマにした野外音楽イベント。音楽を通じて多様性を体感し、尊重し合える空間を作る。
DISCOVER UKRAINE	11/17,25, 12/10	市ヶ谷: メディアラウンジ他	ウクライナの伝統的な芸術のワークショップ。 ウクライナをテーマにしたプレゼン&映画上映。

2025年11月17日（月）～12月12日（金）

詳細はDIVERSITY WEEKs特設ページへ

<https://www.hosei.ac.jp/diversity/event/hosei-diversity-weeks/>



法政大学・明治大学・関西大学 三大学連携事業シンポジウムを開催しました

2025年8月9日（土）、大阪・関西万博 ウーマンズ パビリオン「WA」スペースにて「法政大学・明治大学・関西大学三大学連携事業シンポジウム」が開催されました。「真のダイバーシティとWA！？～多様な人・理念・価値観が集まる大学キャンパスを舞台として～」というテーマのもと、「真のダイバーシティ」とは何かを来場者とともに考え、次世代を担う人材育成における大学の役割について議論を深めました。



当日は三大学によるダイバーシティに関する取組み紹介を行ない、その後「真のダイバーシティとは何か」について総長・学長、副学長、学生が登壇するパネルディスカッションを実施しました。

冒頭では、Khor総長より本学の基本情報や多彩な学びの機会について紹介がありました。続いて、学内の取り組みとして「グローバル大学の実現」や「多様性・公平性・包摂性がある大学の実現」に注力していることが取り上げられました。最後に、本学145年の歴史の中で2名の女性総長が誕生し、そのうち1名は海外出身であることに触れ、これは法政大学の建学の精神や理念を体現していると述べました。続いて事例紹介では、西田副学長が登壇し、ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンセンター（DEIセンター）の設立の経緯や取り組み紹介、これまでの取り組みを通して見えてきた今後の課題等が発表されました。

パネルディスカッションでは、差別や格差とダイバーシティ推進の関係、個人意識と制度改革、「多数者」の特権といった論点を踏まえつつ、ダイバーシティの真意や大学が果たすべき役割、今後の展望について活発な意見交換が行われました。参加者一人一人が多角的にダイバーシティを考える機会となりました。

今後も法政大学は、性別、国籍、年齢などにかかわらず、多様な学生・教職員の活躍の場が広がる大学の実現に向けて、真摯に取り組んでまいります。

ジェンダー平等を実現しよう ～男女共同参画部会News～

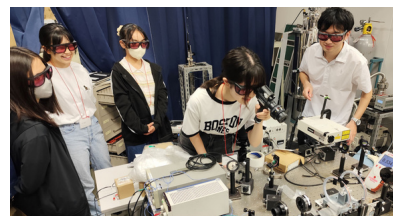


「理工系の研究を体験しよう！～法政大学小金井キャンパスで考える未来のじぶん～」を開催しました

2025年8月5日に、女子中学生を対象にしたイベント「理工系の研究を体験しよう！～法政大学小金井キャンパスで考える未来のじぶん～」を開催しました。定員を大幅に超える73人の応募があり、抽選により当選した女子中学生32名、保護者26名、計58名の方が参加しました。

「学生トークイベント」では、大学院生3名から理系を選んだきっかけや現在のキャンパスライフについてリアルな声を届けました。「研究室での体験プログラム」では次の3つのグループに分かれて各研究室に移動し、大学の本格的な機器を用いて実験や観察等の研究を体験するプログラムを行いました。

- ①「レーザー物理研究室」松尾 由賀利 教授（理工学部創生科学科）
- ②「細胞機能学研究室」川岸 郁朗 教授（生命科学部生命機能学科）
- ③「生体化学工学研究室」山下 明泰 教授（生命科学部環境応用化学科）



参加者からは「中学では使わない試薬や装置に触れるのは新鮮な体験だった。将来、自分も研究者になってみたいなど改めて思い、勉強へのモチベーションが上がった。」「予想と結果が違って、またそれを考えるのが楽しかった。実験したことが、実際どういった場面で役立っているのかを分かりやすく説明してくださり、とても楽しかった。」等の感想が寄せられました。

イベント参加前後の参加者の意識比較では、「理工系分野で働きたい、学びたい」と「とても強く思っていた／思った」割合が5%から24%に上昇しました。

男女共同参画部会では、今後も女子中高生の理系進学を促進する取り組みを企画していく予定です。

付属校へのDEIセンター出張授業



◆ 法政中高 中学1年生道徳授業

10月20日の5～6時間目、法政大学中学高等学校の中学1年生の道徳の授業で、DEIセンターのコーディネーターによる出張授業を行い、生徒と教員約150人が参加しました。「多様性について考える～誰もが安心して過ごせる学校・社会」をテーマに、多様性・公平性・包摂性の基礎知識や、LGBTQ+から考える「マイノリティ」の困難について話しました。その後、レインボーほっとラウンジ 学生スタッフ2名による活動の紹介と、パネルディスカッションを行いました。



講演の後は各教室で、感想のシェアやグループワークを行いました。「法政中高ではマイノリティのどのような困難があるのか、どういう工夫をしたら解決できそうか」を話し合い、多様な生徒が安心していられる場所にするために必要なことをみんなで考えました。

多摩、小金井キャンパスでの取り組み



学生主体のセクシュアルマイノリティや、そうかも？と思っている人&アライのための安全な居場所作りプロジェクト「法政レインボーほっとラウンジ」。各キャンパスの学生スタッフが中心となり、多摩と小金井キャンパスで対面交流会をも開催しました。



◆ 法政レインボーほっとラウンジ in多摩

『学生スタッフからの報告』

7月7日の多摩キャンパスでの対面交流会では、スタッフを含む他の参加者と話せる【おしゃべりスペース】と、静かにひとりで過ごせる【静かにのんびりスペース】を設けたほか、ジェンダーやセクシュアリティに関する本やボードゲームなどを用意しました。また、DEIセンターのコーディネーターとの個別相談も受け付けていました。

今回は一般の参加者以外に多摩キャンパスを拠点とするSIC(ソーシャル・イノベーションセンター)のスタッフの方にもお越しいただき、2025年に開催するHOSEI DIVERSITY WEEKsについて話し合いました。会場は終始おだやかな様子で、参加者の皆さんは自分の考えを共有したり、会場にあった本を読んだりと各々のペースで過ごしていました。

私が学生スタッフとして居場所を作る側に関わったのは今回の交流会が初めてでしたが、参加者へのグラウンドルールの説明や自分なりの視点の提示などで居場所づくりに少しでも直接貢献できたのは嬉しかったです。これからも、ここにやって来る多様な人たちの言葉を聞いて、他者や自分自身への理解を深めていきたいです。

◆ DEIセンターイベントin小金井

10月6日～7日に、小金井キャンパスでレインボーサロンを開催しました。1回目は「性の多様性について知ろう」をテーマに、性の多様性に関するミニ講座とグラウンドルールのもと交流会を開催しました。2回目は「みんな違って、でも私は？～ルーツから考えるアイデンティティの旅～」で、アイデンティティをテーマに先行研究を紹介しました。また、人型の絵に色を塗るワークをしながら「自分はどんなルーツや価値観からできているか」を見つめ直す時間をとりました。



また「法政レインボーほっとラウンジ」の対面交流会も小金井キャンパスで初めて開催しました。

法政大学 ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンセンター(DEIセンター)

<https://www.hosei.ac.jp/diversity/>